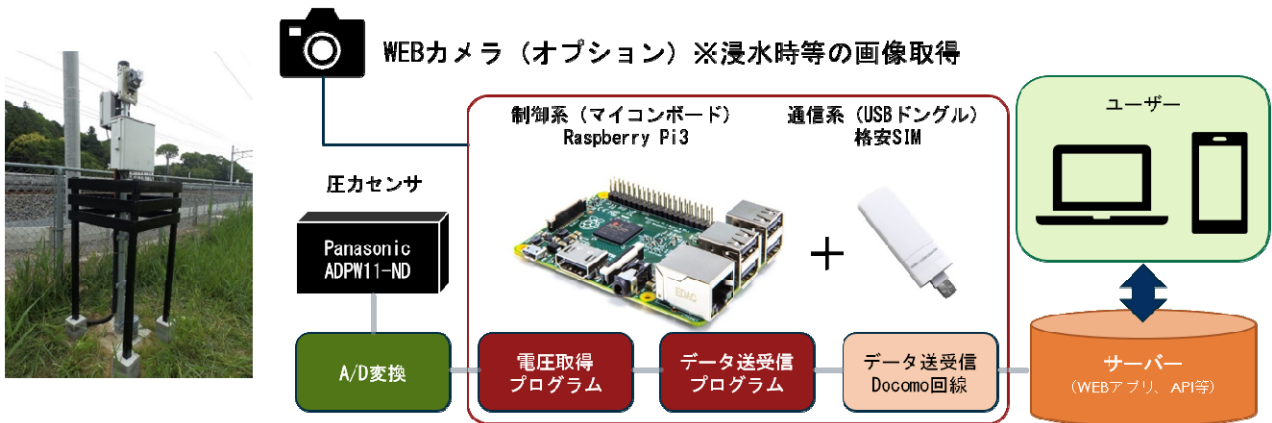


技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	<input checked="" type="radio"/> 安全・防災 <input type="radio"/> 維持管理 <input type="radio"/> 環境 <input type="radio"/> コスト <input checked="" type="radio"/> ICT <input type="radio"/> 品質 （該当分類に○を付記）																							
技術名称	リアルタイム水位監視システム	担当部署	リスクマネジメント事業部																					
NETIS登録番号	NETIS登録無し	担当者	黒木 幹																					
社名等	株式会社福山コンサルタント	電話番号	03-5805-8864																					
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>近年頻発する局地的豪雨により、特に都市内河川の氾濫、宅地や道路の冠水が問題となっております。また、河川管理者も、限られた人員のなかで豪雨時の災害対応を実行していくには、河川の水位状況等のリアルタイム情報を多点にて収集することが求められております。近年のIoT技術の進展による、センサや通信機器の低価格化により、これらを組み合わせることで、低コストの「リアルタイム水位監視システム」の実装を実現しております。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>リアルタイム水位監視システムは、局地的豪雨による低平地の宅地や道路などの湛水被害が起こった際、インターネット経由で、PCやスマートホン等から現地状況を確認することができます。このシステムで得られる情報から、被災時の住民への的確な情報提供や、事後の対策検討に活かすことが可能です。本システムの特徴として、低コストで各種制御が可能なRaspberry Pi3を採用し、初期導入コストの低廉化を図るとともに、MVNO通信サービスへも対応し、ランニングコストの大幅削減も実現しました。現地状況を映像で把握可能なWEBカメラの実装やアメダス降雨データの同時表示等、お客様のニーズに応える拡張性の高さも特徴です。</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>安価なシステムであることの利点を生かし、水位監視が必要な箇所を多点に設置することで、広域的な水位監視が可能となります。また、カメラ画像と組み合わせることで、遠隔にて河川状況を的確に捉えることが可能となります。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市内河川 ・内水氾濫の発生が懸念される箇所 <p>5. 活用実績</p> <table border="0"> <tr> <td>国の機関</td> <td>0 件</td> <td>（九州</td> <td>0件</td> <td>、九州以外</td> <td>0件</td> <td>）</td> </tr> <tr> <td>自治体</td> <td>2 件</td> <td>（九州</td> <td>0件</td> <td>、九州以外</td> <td>2件</td> <td>）</td> </tr> <tr> <td>民間</td> <td>0 件</td> <td>（九州</td> <td>0件</td> <td>、九州以外</td> <td>0件</td> <td>）</td> </tr> </table>			国の機関	0 件	（九州	0件	、九州以外	0件	）	自治体	2 件	（九州	0件	、九州以外	2件	）	民間	0 件	（九州	0件	、九州以外	0件	）
国の機関	0 件	（九州	0件	、九州以外	0件	）																		
自治体	2 件	（九州	0件	、九州以外	2件	）																		
民間	0 件	（九州	0件	、九州以外	0件	）																		

6. 写真・図・表
 ■機器構成



内水氾濫監視システム

河川状況をリアルタイムに画像で確認できます。

水位(cm)	気温(°C)	湿度(%)	気圧(hPa)	電源
0	20.6	63.5	1010.7	AC電源

©INCREM P CORPORATION 許諾番号：PL1506



内水氾濫監視システム

測定データ履歴

2017-10-23 16:05:29 ~ 2017-10-30 16:05:29 までの水位データグラフ

内水氾濫監視システム

水位(cm)	気温(°C)	湿度(%)	気圧(hPa)	電源
0	21.1	31.3	1011	AC電源

内水氾濫監視システム

水位データ (折れ線) と降雨データ (棒グラフ) を同時に表示できます。

スマートフォン・タブレットでも閲覧できます